

設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

- 例題 全日本宗教用具協同組合が定める仏壇の日は毎月27日である。 .....
- 問1 釈尊はブツダガヤの沙羅双樹さらそうじゆの下で成道した。 .....
- 問2 維摩居士ゆいまこじは在俗のまま仏法に通じていた。 .....
- 問3 『阿含経』は歴史上の釈尊の教えをまとめたとされる経典である。 .....
- 問4 華嚴宗は南都六宗の一つである。 .....
- 問5 法相宗興福寺の阿修羅像は一本造りにより造られている。 .....
- 問6 定朝が作った平等院鳳凰堂（宇治市）の本尊は釈迦如来である。 .....
- 問7 右の本尊十一尊天得如来は時宗の本尊である。 .....
- 問8 妙心寺（京都市右京区）、建長寺（鎌倉市）、方広寺（浜松市北区）はいずれも臨済宗の大本山である。 .....
- 問9 東京都大田区池上にある大本山本門寺は浄土宗の大本山である。 .....
- 問10 蓮如は「当流には、木像より絵像、絵像より名号、といふなり」と説いたが、名号とは「南無薬師如来」の六字名号である。 .....
- 問11 本願寺が東西両本願寺に分かれたのは明治時代になってからのことである。 .....
- 問12 檀家制度の檀には「施し」という意味がある。 .....
- 問13 高村光雲は西洋の写実表現も取り入れた彫刻家・仏師である。 .....
- 問14 賽さいの河原で子供を救済するとされるのは地藏菩薩である。 .....
- 問15 不動明王が左手に持つのは羂索けんさくと呼ばれる縄である。 .....
- 問16 令和元年11月15日に亡くなった方の三回忌は令和4年11月15日である。 .....
- 問17 中陰とは亡くなってから、次に生まれ変わるまでの間を指す仏教思想である。 .....
- 問18 撥遣供養はっけんくようとは魂入れの法要のことである。 .....
- 問19 遺族が故人のために供養を行う追善供養に対して、生前予め供養を済ませておくことを逆修ぎやくしゆと言う。 .....



問5



問7



問15

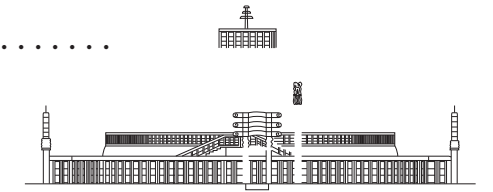
採点欄

--	--

(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×記入欄

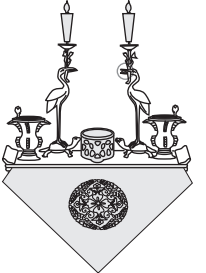
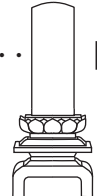


- 問20 卒塔婆の語源は釈尊の遺骨を祀った「ストゥーパ」にあるとされる。 .....
- 問21 お盆の時に僧侶が家々を回り、先亡を供養することを「棚経」という。 .....
- 問22 法要の前日のことを逮夜と呼ぶ。 .....
- 問23 仏壇公正競争規約ではカシュー仕上の製品に「合成漆」など「漆」を含む表示ができる。 .....
- 問24 四号色金箔は一号色金箔よりも金の含有量が多い。 .....
- 問25 生漆は原料の漆を精製濾過したもので、拭き漆仕上げや金箔の接着に使われる。 .....
- 問26 呂色は駿河炭などの研磨と漆の擦り込みを行う工程を持つ。 .....
- 問27 仏壇公正競争規約では精製漆及び樹脂の混合塗料の量に対して20%の精製漆を含む塗料を塗って仕上げたものは「漆・樹脂混合仕上げ」の表示ができる。 .....
- 問28 右の技法は魚々子と呼ばれる鋳金具の技法である。 .....
- 問29 都市型仏壇の仏壇公正競争規約に拠る表示は金仏壇あるいは唐木仏壇に準じる。 .....
- 問30 シヤム柿はタイで産出される木材である。 .....
- 問31 槐は鬼門除けとして植栽されてきた。 .....
- 問32 仏壇公正競争規約では櫟を芯材として櫟の厚板貼りをした戸板は「無垢」の表示ができない。 .....
- 問33 本紫檀・紫檀に分類されるダルベルギア種はワシントン条約による規制がある。 .....
- 問34 仏壇公正競争規約でカリンは「紫檀」の表示ができない。 .....
- 問35 京仏具・尾張仏具は経済産業大臣指定の伝統的工芸品である。 .....
- 問36 葬儀・法要の際には基本的に右のような結切の金封が使われる。 .....



採点欄

--	--

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

問37	右の仏具は浄土真宗本願寺派のものである。	○×記入欄	<input checked="" type="checkbox"/>	問37	
問38	右の位牌の型式は五重座である。		<input checked="" type="checkbox"/>	問38	
問39	銅器の塗装には、伝統的な鉄漿 <small>おはぐろ</small> 、漆焼き付けの他、ウレタン塗装、アクリル塗装も用いられる。		<input type="checkbox"/>	問40	
問40	右の香材料は丁字である。		<input checked="" type="checkbox"/>		
問41	白檀はインドの他、インドネシアでも産出する。		<input type="checkbox"/>		
問42	神具の真櫛 <small>まさかき</small> に下がるのは剣・玉・鏡である。		<input type="checkbox"/>		
問43	不正競争防止法では他人の商品の形態を模倣した商品を他人に供給することを規制する。		<input type="checkbox"/>		

設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の記入欄に書いてください。

例題 真言宗の宗祖は《道元》である。

戒は仏教の根本であり、釈尊の教えであり、戒名の「戒」とはしてはならないことと同時に良い生活習慣のことである。

奈良時代に来朝した《① 行基》は授戒のために来朝し、東大寺戒壇院で授戒を行った。東大寺戒壇院での出家者への授戒は釈尊の時代以来の248戒であったが、

平安時代になると最澄が《② 身延山久遠寺》に戒壇院を開き、《③ 『梵網経』》による十重四十八軽戒ほんもうきょうの授戒を始めた。最澄が導入した十重四十八軽戒は

出家しんぞくいっかん（僧尼）と在家を問わない「真俗一貫」の戒であり、日本仏教に大きな影響を与えた。戒には五戒、十戒、三帰戒ごかい（三帰依戒じっかい）、三聚淨戒さんきかい（三聚依戒さんきえかい）、三聚淨戒さんじゅじょうかいなどがあり、

三帰戒は《④ 仏・法・僧》に帰依することを言う。曹洞宗では三帰戒・三聚淨戒・十重禁戒じゅうじゅうきんかいが授けられる授戒を含む葬儀式で《⑤ 諸仏の位くらいに入ったこと》が

導師により宣言される。浄土真宗の法名は法名の冒頭に《⑥ 鸞》を付ける。《⑦ 禅宗》では戒名の上に「空」や「○（円相）」の一文字を入れることがある。

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
設問2 ○×記入欄	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

採点欄	